

TICAD 「成長の加速化」分科会における農林水産大臣発言

2008年5月29日

農林水産大臣 若林 正俊

1. ゼーリック世界銀行総裁、ジャン・ピン・アフリカ連合(AU)^{エーユー}委員長、ボーグ国際農業開発基金(IFAD)^{イファド}総裁、各国、国際機関の代表の皆様、そしてご参集のすべての皆様、

本日、TICAD^{ティカッドフォー}において農業分野の議論を行う本分科会に参加し、発言する機会をいただいたことを大変光栄に存じます。この機会に、現在の食料問題とアフリカ農業開発の重要性について述べさせていただきます。

2. アフリカでは人口の3分の2が農業に従事しており、農業の生産性を上げ、食料生産を拡大することが、食料安全保障の確保とともに、経済成長の原動力となります。つまり、農業開発が経済成長、貧困削減の重要な手段であり、農業がアフリカ開発の要と言えます。

3. ご承知のように世界的に食料価格が高騰し、アフリカ諸国をはじめ、食料輸入国に大きな影響を与えています。アフリカは他の大陸よりも農業生産のための自然条件が厳しい上に、旱魃などの要因が加わり、農業の生産性が低い状態にあります。このため人口増から、コメなど穀物の

輸入量が増加しており、効果的な農業開発の取組が急がれます。

4. この食料問題を克服していくためには、開発途上国をはじめとする各国が、農業生産を強化し、食料安全保障を確立していくことが基本と考えます。また、バイオ燃料生産については、食料安全保障と両立する必要があると考えます。我が国としても、短期的及び中長期的対策を効果的に組み合わせてアフリカ支援に取り組む所存です。

5. まず、短期的には、我が国は先月1億ドルの緊急食糧援助を表明し、このうちの相当部分をアフリカに向けます。また、問題となっている輸出規制などについては、途上国の困難を緩和するため、国際価格の高騰につながる行為を自粛すべきと訴えているところです。

6. アフリカの農業生産性を高める中・長期的支援については、ネリカを含めた稲の品種改良などの研究開発や栽培技術の普及、かんがい整備、農民組織化、人材育成などが重要と考え、積極的な支援を行って参ります。特に、輸入量が増加しているコメについては、我が国が高い生産技術を持っていますので、国際機関などと連携して、集中的に支援し、アフリカにおいてコメ生産を倍増できるよう、取り組んでいく所存です。さらに、「売れる農産物づくり」も重要であり、我が国は「開発イニシアティブ」による支援を行っているところですが、南南協力などの方法により支

援を強化して参ります。

7. 食料価格高騰問題に対応するため、現在国際社会が一丸となって対策作りを行っています。我が国としても、各国毎のニーズ等も踏まえながら、さらに支援を検討していきます。例えば、昨日、福田総理から紹介がありましたとおり、新たに生まれた飢餓層に対する救済策、今年と来年の作付け対策などさまざまな支援策を練っているところです。その中に種子や肥料の供与を含めることも検討しています。

8. 最後に、本会合を通じ、アフリカの農業開発の重要性が認識され、支援の連携が強化されることを期待するとともに、我が国は、今後開催される^{エフイーオー}F A Oのハイレベル会合、^{ジーエイト}G 8 サミットなどにおいて、食料問題の解決に向け、最大限努力することをお伝えし、私からのコメントといたします。どうもありがとうございました。